

CHARTERED
MAY 4, 1980



福岡中央 FUKUOKA CHUO



福岡中央ワイズメンズクラブ ブリテン 2016年3月1日発行 URL <http://www.fukuchu-ys.com/>

2016.3

会長 主題 なごやかに総意を求めて
In pursuit of consensus.

スローガン

We can disagree in the spirit of respect and civility.



会長 草場 修二

今月の聖句

万物の終わりが迫っています。だから、思慮深く振る舞い、身を慎んで、よく祈りなさい。何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。不平を言わずにモテなし合いあなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
(ペテロの手紙 I 第4章 7~10節)

解説：会社人間だったAさんは、ダウン症の次男を授かってから、これまでの仕事優先の生活がお子さんを中心とした生活になりました。不幸にして知的障がい者として誕生したお子さんは、数年でこの世を去りましたが、Aさんはそのお子さんの葬儀の挨拶の中で「私は自分の子どもに教えられました。」と述べたそうです。彼のために役立ちたいという思いとは反対に、様々なことを教えられ、気づかされたということです。言葉は悪いのですが、「負の賜物」というものがあったら、その賜物によって、私達は大きな恵みを与えられていることを感じます。ペテロは、「絶望的なときにはあっても、そして「何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。不平を言わずにモテなし合いなさい」とあります。余談ですがこの「モテなし」は馳走を振舞うことではなく、旅人に対して宿を貸す意味です。

壹岐 裕志

エンダウメントファンド（EF信託基金）とは、国際ワイズダム発展のための特別な基金。記念すべき出来事・行事または個人の慶弔ごとの折に寄付金を国際協会に送って積み立てる。基金評議会が管理し、その黒字を運用する。US\$120以上の寄付者名とその記念事項は国際が永久に保管する「ゴールデンブック」に記載される。一ロースターのワイズ用語抜粋から—この西日本区版が西日本ワイズ基金（JWF）で、今月はその強調月間です。

公園などでよく見かける記念植樹のようなものだと理解すればよいのでしょうか。私個人としてはこれに献金したことはありません。また福岡中央クラブも私の知っている限りはないと思います。3年後には40周年を迎えますので、記念として検討してみるのも良いことではないでしょうか。ただ、クラブも個人も、そういうときは心と財政上のゆとりがないとなかなか難しいものでしょうね。そのためにも今後みんなで頑張って少しずつでも新しい会員を増やしていくものですね。

2月20日にボランティアリーダーみなさんの卒業祝賀会があり、堀田さん、齊藤さん、草場の3名が参加しました。ドレスアップした皆さんに目を見張り、内容も心温まるほんとに良い祝賀会でした。ボランティアリーダーのみなさんは社会に出てもますます活躍なさることでしょう。心よりお祝いを申し上げます。

3月の予定 PLAN OF MARCH

第1例会： 3月10日(木)
19:00~21:00
会 場： ホテルセントラーザ博多
内 容： 卓話例会 旅の漫遊 西山 貴嗣氏
「他にない旅行を創造する」
~若い者には旅をさせたい!~
第2例会： 3月24日(木)
18:30~20:30
会 場： 福岡YMCA
092-781-7410

2月のデータ DATA OF FEBRUARY

●2月在籍者：16人 第1例会 第2例会
メンバー 10名 8名
ネット 3名 1名
ゲスト 5名 0名

●2月出席率： 68.75%

2月18日(木) 第1例会
2月25日(木) 第2例会

現在までのファンドの状況

FUND	ファンド
2月 第1例会	14,000円
第2例会	0円
累計	40,000円

福岡中央ワイズメンズクラブの
プリテンは再生紙を使っています！
SAVE THE EARTH!

国際会長 主題 Wichian Boonmapajorn (タイ) "Mission with Faith" 「信念のあるミッション」(使命・目標)

アジア地域会長 主題 Edward K.W.ONG (シンガポール) "Through Love,Serve" 「愛をもって奉事をしよう」

西日本区理事 主題 遠藤 通寛 (大阪泉州) 「あなたならできる！きっとできる！」 "You can do it! Yes, you can!"

九州部部長 主題 五嶋 義行 (阿蘇) 「九州から輝くワイズダム」 "Shine our Wisedom from Kyushu island"

CLUB OFFICE

福岡市城南区七隈 1-10-10 092-831-1771

1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city 814-0133 JAPAN

2月「留学生を囲む」例会報告

奥村 充洋



今回は「留学生を囲んで」ということで、七隈日本語（進学コース）よりアルゲジヤ マガル シャムシェールさん（ネパール）、天神日本語（一般日本語コース）よりジョン セギョンさん（韓国）とパーロ シルヴィアさん（イタリア）を迎えての例会となりました。

卓話ではそれぞれの国と日本との違いや自国の文化について語っていました。

ネパールと日本は大きく文化も違い、ヒマラヤの麓で産業のほとんどが畜産、農家というところから来たマガルさん。YMCAを今春卒業し、宮崎市の介護の専門学校に進学されるそうです。

西鉄電車が大好きなセギョンさんは韓国のいろいろな文化（食、美など）をとても流暢な日本語でレポートしてくれました。ワイスの皆さんもフムフムとうなづくことが多かったのではないでしょうか。特に美容整形の文化はみなさん興味深かったです。



最後にイタリアからシルヴィアさん。なぜヨーロッパから？という皆さんの疑問にきちんと答えてくれるプレゼンテーションでした。やはりイタリアの男性は褒め上手のようですね。我々も学ばねば…（笑）



この日は専任講師の世戸口先生、三田先生もゲストで参加されました。福岡 YMCA の日本語教育は県下でも一目おかれるレベルだと言われています。その名に恥じぬよう、より良い教育を学生に伝えて、日本と世界との架け橋になってもらいたいと思っています。今後とも温かい目で見守っていただければと思います！

第2例会報告 2月25日

出席者 伊藤 壱岐 大浦 大浦京子 岡 奥村 草場 齋藤 堀田

議題

3月例会 10日（木）ドライバー 小田さん 卓話 旅の漫遊 代表取締役 西山 貴嗣氏
プリテン 3月号

聖句と解説 壱岐さん、2月例会報告 奥村さん、誕生日コメント 大浦京子さん 3/27

結婚記念日 江口夫妻 3/3 岡夫妻 3/12

4月例会 14日（木）ドライバー 壱岐さん 博多にわか 松崎 真治氏

5月 IBC 例会 21日（土）～22日（日） 参加者 9名

宿泊施設・・・全国郵便局長会議が当日博多で開催されるため確保が難しい。

ホームステイまたは格安旅館（嬉野温泉・神泉閣）なども検討したが日程を変えられないか聞いてみることになった。

第3回九州部評議会 3月6日

YYフォーラム 5月開催

西日本区大会 6月25日～26日

早期申込 3月31日まで 21,000円

4月以降申込 23,000円

その他 ボランティアリーダー卒業祝賀会の感想など



●ピンクシャツデー いじめ反対のポジティブキャンペーン！

いじめのない世界を目指すため「ピンクシャツデー」という運動、ご存知でしょうか。

ピンクシャツデーの始まりは、2007年カナダの学生から瞬く間に広がった世界的いじめ反対運動です。

ピンクのシャツを着て登校した少年が「ゲイ」だといじめられ、耐え切れず帰宅。それを見た二人の学生が、いじめなんてうんざりだ！アクションを起こそう！とピンクのシャツを配り、賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、自然にいじめがなくなりました。それ以来2月最終水曜日には、いじめに反対する学校・企業・個人はピンクのものを身に着ける運動が世界中に広まりました。

全国のYMCAでも、その運動に賛同し、福岡YMCAでは2月の第4週に「ピンクシャツWEEK」を設けました。期間中は、ピンクの物を身につけ、みんなで思いをこめたメッセージボードを作成、また英会話の授業では、いじめについてディスカッションする機会を設けました。

来年は是非、ワイスの皆様にもご参加頂ければと思います！（報告：語学教育事業 園田）



●旅立つユースボランティアリーダーにエールを！

去る2月20日にボランティアリーダーの門出を祝う祝賀会が開催され、合計23名のリーダー達が福岡YMCAを巣立っていきました。

祝賀会ではリーダーによる出し物やワイスメンズクラブの皆様による記念品の贈呈が行われ、それぞれYMCAでの思い出話に花が咲いていたようです。またYMCAユースボランティアの認証式も行われました。

最後に卒業生からの一言があり、YMCAに対する思いや後輩リーダーへのメッセージを伝え、涙が見られる場面も。リーダー活動を経て、立派に成長した彼らの姿を見て胸が熱くなりました。

卒業後はそれぞれの道に向かって進むリーダーの皆さんを私たちスタッフはいつまでも応援していきたいと思います。

また、ワイスメンズクラブからは草場会長、齊藤ワイス、堀田ワイスにご出席いただき、またリーダー達へ素晴らしい贈り物を送っていただき誠にありがとうございました。これからも温かいご支援ご協力をよろしくお願い致します。（報告：本部事務局 川波）



HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

大浦 京子 OOURA, Kyoko 3月27日生まれ オメテトウゴザイマス！

今年の冬は、1月のあの大雪の頃に4才の孫がA型インフルエンザにかかり、その後、上の子が小学校が学級閉鎖になり、その子もB型に感染し、やっと治りかけた矢先…、今度はジイジまでB型にかかってしまい、我が家は2月中までまさしく冬籠りの期間でした。

幸い、毎年2月に入院を繰り返していた母は、この間を乗り越えてくれてほっと一息です。振り返ると子どもが社会人になった頃が一番余裕があった時期だったかなと思います。

HAPPY ANNIVERSARY!!

江口 和宏・幸恵 Kazuhiro ♥♥ Yukie 3月 3日 おめでとうございます！

今年もお互い話題にする事全くなく過ぎました。

岡 久凱・恭子 Hisakatsu ♥♥ Kyoko 3月12日 49周年おめでとうございます！

今年は何もせずに、ひたすら来年の50周年に向けて、2人で仲良く、楽しんでいこうと思っています。

2015~2016 西日本区理事 遠藤 通寛



主題「あなたならできる、きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!" 生きる しなやかに さわやかに Live flexibly and refreshingly

去る2月21日に京都舞鶴YMCAにて賀詞交歓会が盛大に開催されました。舞鶴YMCAをサポートするクラブの誕生を中心としております。お世話をいただきました皆様にこの場をお借りいたしまして感謝申し上げます。

今月は次期会長・主査研修会にて発表します半期の報告を記載いたします。

◎西日本区現勢と各事業について

まず、西日本区の現勢についてご報告申し上げます。西日本区が発足した1997年当時の会員数は1952人でした。前期の2015年1月1日の会員数は1588人、当期の期初の会員数は、1530人で58人減少し、また前期に於いて3クラブが解散いたしました。今期 EMC事業主任の報告によりますと、2016年1月1日現在の会員数は、1528人とあります。増加した各部は、中部、びわこ部、阪和部、九州部で、減少した各部は、京都部、瀬戸山陰部でした。差引2名の減少です。

昨年の次期会長・主査研修会時の報告では、期初の1577人から1588人まで回復したとの報告がありました。この報告から現在の状況を踏まえますと、現状は大変危険な状態にあるとの認識がされます。20年の歳月で4分の1近くのメンバーが減少したことになります。各部、各クラブ訪問時には入会者、入会予定者の方々にお会いすることができるため、大変喜ばしく高揚しますが、退会の方とはお会いすることもありません。大変ご苦労をされて入会いただいたメンバーです。クラブのメンバー相互の理解とケアが重要なことは申すまでもありません。

◎事業別の方針・目標と推移

YMCAサービス・ユース事業（河合久美子事業主任）

- YMCAサービス 所属するYMCAとの情報交換を密にして、求められている支援を的確に把握し、積極的にサポートする。
- 事業主任・YYL（下村ワイズ）の両者が情報を収集し配信
- 若者（ユース）のYMCA、ワイズメンズクラブへの理解を深め、将来にわたる関わりを持つための仕組みを作り、取組みを推進する。
- ホームページ上にてユースの広場を作成し活用を図る。進行中
- 各部におけるYY（Y）フォーラムの開催。
- ユースコンボケーションにYMCA、ワイズメンズクラブを理解しようとする多くのユースを送り出す。
- AYC報告会開催。IYC（台湾）募集し、現在3名が応募

地域奉仕・環境事業（川上孝司事業主任）

- クラブ、部で実践する地域奉仕・環境事業活動に係る支援金要請に対し迅速に対応する。環境事業は身の回りおよび地球規模で発生している環境問題を認識し、私たちにできることを実行するようにアピールする。
- 現在申請中のものは事業委員会にて検討し、また資金

を申請中。

- 国際協会のロールバックマラリア事業の継続を受け、再度皆様に理解と支援をアピールする。
 - PR用のグッズを作成し、各部会にて各部のワイズの協力を得てアピール
 - 東日本大震災の復興状況を把握しつつ、現状に沿った支援を継続する。
 - CS資金・FF献金・TOF資金についての理解を深めていただく。
 - 事業通信にてアピール

EMC事業（小野勅鉢事業主任）

- ワイズメンズクラブの目的・モットーを基本に、各部に於いて「EMCシンポジウムや各種研修会を開催しEMC事業の普及を図っていただく。
- ワイズ100周年に向け計画的な会員増強を図る。
 - 事業主任にて数値目標を設定し、過去の資料を検討し各部及びクラブの情報を提供している。

国際・交流事業（中井信一事業主任）

- DBC・IBC締結の推進
- 国内（東西）・国外の交流推進
- BF制度は国際役員、BF代表の資金、 献金の目的理解と献金推進
- DBC・IBCについては前期よりの力強い活動にて順調に締結が行われている。
- YEEP・STEP制度を通じて若者の成長支援
- 前期より準備をいただき名古屋グランパスクラブにSTEP受入と京都キャピタルクラブの仁科ワイズのお孫さんをSTEPに派遣
- E.Fの国際基金への理解と推進
- 順調に推移

ネット事業（遠藤典子事業主任）

- 国際・交流事業との協働によるネット事業の展開。
- 各部会のネットアワー等に国際・交流事業主任が参加
- 国内プロジェクト 東日本区北東部仙台3クラブと、もりおかクラブの「被災地支援活動」及び「被災地訪問交流会プログラム」への支援要請
- 三陸産わかめの購入に多くのクラブより協力をいたたく
- メンから、ネットへ例会・各種事業への積極的な参加呼びかけを推進する。
- 継続して呼びかけ中

国際の状況（手持ちの資料で集計しました）

2015年7月より2016年1月までのチャーターされた新クラブ

IND(インド) 56クラブ KOR(韓国) 8クラブ ASI(アジア) 2クラブ
EUR(ヨーロッパ) 2クラブ

ASI(アジア地域)

2016年8月4日よりSOP(南太平洋地域)と統合、アジア・パシフィック地域となる。